

(様式1)

# 環境配慮検討書

平成 24 年 10 月 29 日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

伊勢建設事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

|               |                    |                   |      |              |
|---------------|--------------------|-------------------|------|--------------|
| 対 象 事 業 の 名 称 | 宇治山田港海岸 国補海岸侵食対策工事 |                   |      |              |
| 連 絡 先         | 担 当 課 名            | 伊勢建設事務所 事業推進室 流域課 |      |              |
|               | 担当者職・氏名            | 技師 藤村 拓夫          | 電話番号 | 0596-27-5227 |

1.事業の計画の名称 目的及び内容

|           |   |  |  |
|-----------|---|--|--|
| (1)名称     | 宇治山田港海岸 国補海岸侵食対策工事  |  |  |
| (2)目的     | <p>宇治山田港海岸では 海岸侵食が著しく進み、台風による異常波浪や海浜の減少が原因となる越波等の被害が生じており、海岸保全施設の整備要望が強い箇所である。</p> <p>整備方法については「防護」、「環境」、「利用」が調和した海岸の保全と海岸事業の効率性・透明性等を図ることを目的に平成 14 年度に策定された三重県海岸整備アクションプログラムにおける宇治山田港海岸の位置付けを踏まえた検討を行った。</p> <p>三重県海岸整備アクションプログラムにおいて宇治山田港海岸は 防護・環境・利用の現況 アンケートから自然環境の保全・復元も考えた整備を行う「環境維持海岸」に分類され、この計画に基づいた整備を行う。</p> <p>また、既設堤防は老朽化が著しいため、堤防補強も考慮した整備を行う。</p> |  |  |
| (3)事業主体   | 伊勢建設事務所   |  |  |
| (4)計画内容   | 計画地の位置<br>(参考図-1 参照)  | 三重県 伊勢市二見町今一色～荘地内                        |  |
|           | 建物・施設等の概要<br>(用途、規模、面積、配置等)<br>(参考図-2 参照)   | 計画延長: L = 2,045m<br>堤防補強工延長: L = 2,045m  |  |
|           | 用水の使用計画   | なし                                       |  |
|           | エネルギーの使用計画  | なし                                       |  |
|           | 雨水 汚水の排水計画  | 雨水: 堤防背後地の雨水処理のための排水暗渠が2箇所存在する<br>汚水: なし |  |
|           | 道路・交通計画   | 宇治山田港海岸 西側端部に進入口を設置予定である。                |  |
|           | 工期  | ア)着工の予定時期<br>イ)完工及び供用開始の予定時期             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・着工:平成25年度予定</li> <li>・完工:平成34年度予定</li> <li>・供用:平成35年度予定</li> </ul> |
| (5)関連事業計画 | なし  |  |  |
| (6)その他    | なし  |  |  |

## 2 計画地の社会的条件の現況等

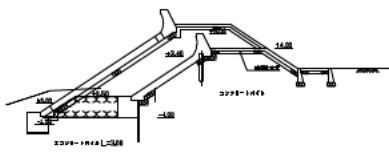
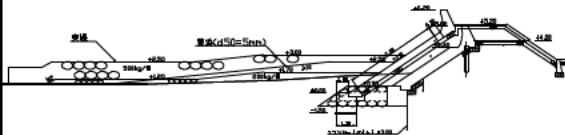
|                        |                |  |
|------------------------|----------------|--|
| (1) 計画地の社会的条件の現況       | 交通の現況          | 堤防道路は生活道路として利用されている。   |
|                        | 土地利用の現況        | 宇治山田港海岸に隣接する地区は用途地域には指定されていないが、二見西海岸風致地区に指定されている。  |
|                        | 水域利用の現況        | 共同漁業権 区画漁業権が設定されている。   |
|                        | 生活関連施設の現況      | 生活関連施設の立地状況<br>a. 学校施設：今一色小学校、二見小学校、二見中学校<br>b. 医療施設：特になし<br>c. 文化施設：御塩殿神社<br>d. その他：二見浦海水浴場   |
| (2) 関係法令等による地域の指定・規制状況 | 自然環境保全地域等の指定状況 | 自然環境保全地域(地区)、自然公園地域(区域)、鳥獣保護区の指定状況<br>a. 自然環境保全地域：指定なし<br>b. 自然公園地域：伊勢志摩国立公園<br>c. 鳥獣保護区：指定なし  |
|                        | 土地利用規制の現況      | 都市計画法 農業地域振興法 森林法等の規制状況<br>a. 都市計画法：規制あり(風致地区)<br>b. 農業地域振興法：規制なし<br>c. 森林法等：規制あり(保安林)<br>d. 砂防法：規制なし<br>e. 地すべり等防止法：規制なし<br>f. 急傾斜地災害防止法：規制なし<br>g. 河川法：規制なし<br>h. 海岸法：規制あり(海岸保全区域)<br>i. 文化財保護法：規制なし(名勝「二見浦」に隣接) |

### 3.計画地の自然的条件の現況

|                    |   |   |  |         |     |
|--------------------|---|---|--|---------|-----|
| (1)地形<br>・地質       | 文献調査  | 文献名   | 平成12年度 国補海岸侵食対策(地質調査)業務委託<br>平成22年度 宇治山田港海岸侵食対策(地質調査)業務委託<br>(伊勢建設事務所) |         |     |
|                    | 現地調査の有無   | 有・無<br>(実施日時 平成13年10月<br>平成22年9月)   |  | 聴取調査の有無 | 有・無 |
|                    | 調査結果等   | <p>地形: 宇治山田港海岸は伊勢志摩低地に地形区分されている。伊勢志摩低地の南から東部にかけての地域は五十鈴川、宮川の氾濫により形成された沖積低地であり、上流域から中流域には扇状地性低地が、中流から下流域には三角州性低地が発達している。この地域では、北西から西部に広がる他の低地と比較し、三角州低地が内陸深くまで入り込んでいるのが特徴となっている。</p> <p>地質: 伊勢志摩地域の基盤は当海岸の北側を西南西～東北東方向に延びる中央構造線を挟んで、北側の内帯と南側の外帯に区分される。当該地の南側の内帯は、秩父帯の古生層、御荷鉾緑色岩類と塩基性・超塩基性複合岩帯及び三波川帯の結晶片岩類の変成岩によって基盤が構成されるが、北側の内帯では領家帯の花崗岩類やそれに伴う片麻岩を主体とした変成岩類により構成される。</p> |  |         |     |
| (2)水象              | 文献調査  | 文献名   | なし   |         |     |
|                    | 現地調査の有無   | 有・無   |  | 聴取調査の有無 | 有・無 |
|                    | 調査結果等<br>河川・湖沼<br>海域  | 一級河川五十鈴川に隣接する<br>伊勢湾沿岸に位置する   |  |         |     |
| (3)気象<br>・大気質<br>等 | 調査の方法   | 津地方気象台資料(観測所:小俣観測所)<br>平成23年度版三重県環境白書   |  |         |     |
|                    | 調査結果  | <p>計画地最寄り(伊勢市)の観測データは次のとおり</p> <p>a. 平均気温: 15.4 °C</p> <p>b. 降水量: 2,020.0 mm/年</p> <p>c. 平均風速: 2.6 m/s 西北西</p> <p>d. 大気質: SO<sub>2</sub>(二酸化硫黄) 0.002 ppm (年平均)<br/>NO<sub>2</sub>(二酸化窒素) 0.007 ppm (年平均)<br/>SPM(浮遊粒子状物質) 0.020 mg/m<sup>3</sup> (年平均)</p> <p>e. 水質: 類型 B COD 2.9 mg/l<br/>(伊勢地先海域-ST-4)</p>   |  |         |     |
| (4)生態系<br>等        | 文献調査  | 文献名   | 三重県レッドデータブック 2005 (三重県農林水産部)   |         |     |
|                    | 現地調査の有無   | 有・無   |  | 聴取調査の有無 | 有・無 |
|                    | 動物  | <p>動物相の概要 : 事業計画地西側の端部の砂浜において、鳥類や貝類・カニ類等の干潟生物が見られる。</p> <p>貴重な動物 : 事業計画地において、三重県レッドデータブック 2005 に登録されている動物は以下のとおりである。<br/>・コアジサシ(絶滅危惧 I B)<br/>・シロチドリ(絶滅危惧 I B)</p>  |  |         |     |
| 植物                 | <p>植物相の概要 : 事業計画地の背後地には、クロマツ林が広がり、西側端部の砂浜には砂丘性の植物が植生している。</p> <p>貴重な植物 : 特になし</p> |   |  |         |     |

|                          |   |  |   |         |     |         |              |                  |              |              |                |
|--------------------------|---|--|---|---------|-----|---------|--------------|------------------|--------------|--------------|----------------|
| (5)自然<br>景観・<br>文化財<br>等 | 文献調査  | 文献名  | 平成22年度 宇治山田港海岸侵食対策(基本設計)業務委託<br>(伊勢建設事務所) |         |     |         |              |                  |              |              |                |
|                          | 現地調査の有無   | 有・無<br>(実施日時 平成22年10月)   |   | 聴取調査の有無 | 有・無 |         |              |                  |              |              |                |
|                          | 調査結果等<br>自然景観   | 自然景観の概要: 事業計画区域は 五十鈴川河口右岸から二見浦に続く<br>海岸であり、背後の保安林を含めて白砂青松の海岸で<br>あったが、近年海浜が消失している。 |   |         |     |         |              |                  |              |              |                |
|                          | 文化財<br>史跡<br>名勝等  | 貴重な自然景観: 名勝「二見浦」<br>史跡・名勝・天然記念物: 名勝「二見浦」   |   |         |     |         |              |                  |              |              |                |
|                          | 野外レクリエ<br>ーション他   | 埋蔵文化財包蔵地: 特になし<br>二見浦海水浴場  |   |         |     |         |              |                  |              |              |                |
| (6)その他<br>自然<br>災害等      | 昭和34年の伊勢湾台風により、甚大な損害を受けた。<br>伊勢市内(旧伊勢市、二見町)における被害状況<br><table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・死者 11人</td> <td>・負傷者 不明 396人</td> </tr> <tr> <td>・全壊住家(流失住家) 510戸</td> <td>・半壊住家 2,199戸</td> </tr> <tr> <td>・住家床上浸水 226戸</td> <td>・住家床下浸水 1,630戸</td> </tr> </table><br>(出典:伊勢湾台風災害誌 三重県 p101) |  |   |         |     | ・死者 11人 | ・負傷者 不明 396人 | ・全壊住家(流失住家) 510戸 | ・半壊住家 2,199戸 | ・住家床上浸水 226戸 | ・住家床下浸水 1,630戸 |
| ・死者 11人                  | ・負傷者 不明 396人  |  |   |         |     |         |              |                  |              |              |                |
| ・全壊住家(流失住家) 510戸         | ・半壊住家 2,199戸  |  |   |         |     |         |              |                  |              |              |                |
| ・住家床上浸水 226戸             | ・住家床下浸水 1,630戸  |  |   |         |     |         |              |                  |              |              |                |

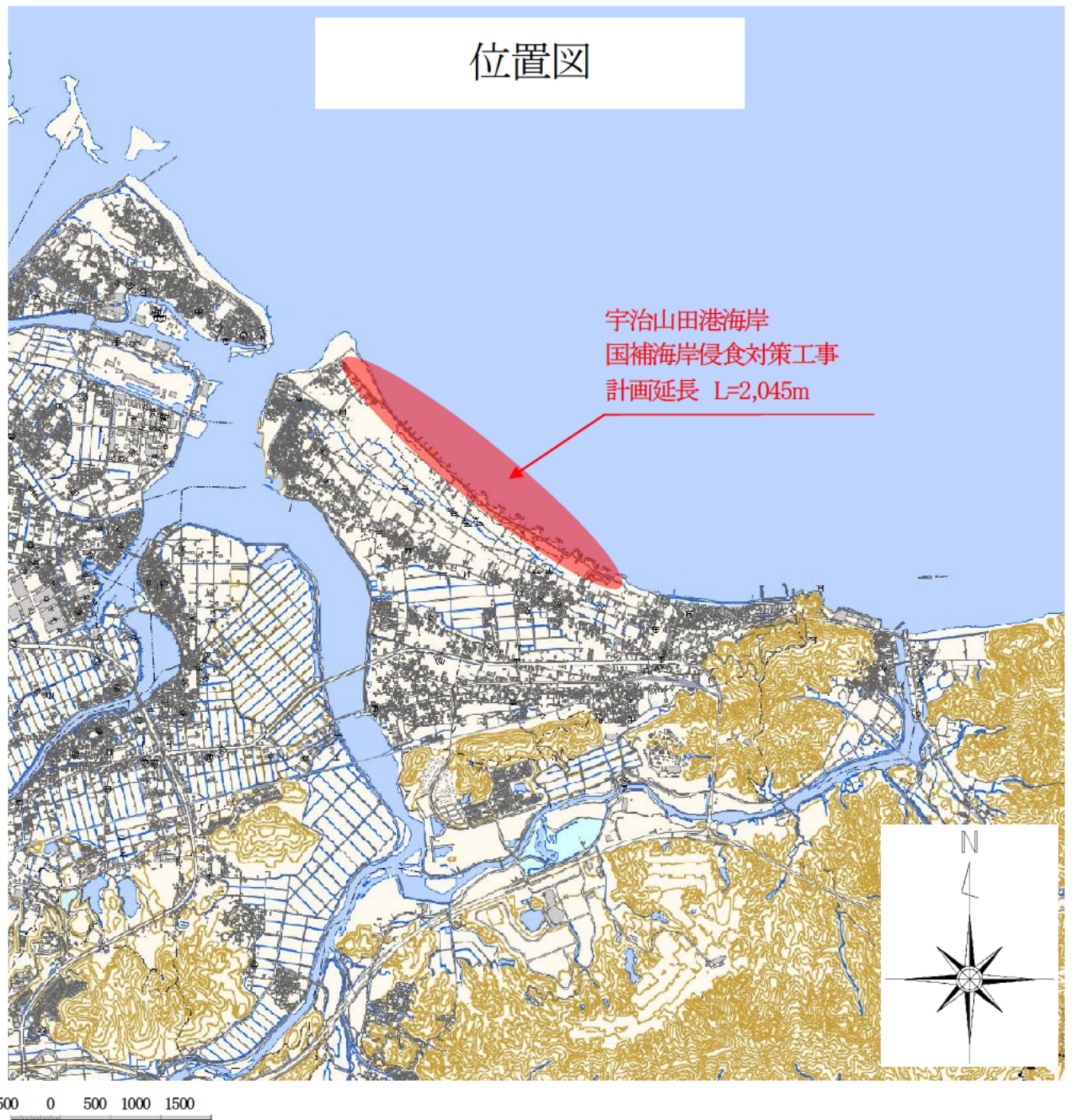
#### 4 事業計画の検討内容

|   | 事業計画案   |                                   | 比較検討案  |  |
|---|---|-----------------------------------|--|--|
|   | 堤防補強(嵩上げ)   |                                   | 堤防補強(嵩上げ) + 養浜 + 突堤  |  |
| (1)計画の概要  |  |                                   |  |  |
| (2)環境評価   |   |                                   |  |  |
| ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築<br>②人と自然がともにある環境の保全<br>③安らぎと潤いのある快適な環境の創造 |   |                                   |  |  |
| ①-1<br>地球温暖化防止  | ○   | 比較案に比べて、資材調達のための山林伐採の懸念が少ない。      | △  | 突堤に使用する石材確保のため、石切り場の拡大による山林伐採が懸念される。       |
| ①-2<br>廃棄物対策  | ○   | 既設堤防の撤去は、最低限にとどめるため、発生廃棄物の減量ができる。 | △  | 計画案より堤防天端が低いため、既設堤防の撤去量が多くなるため、発生廃棄物が多くなる。 |
| ①-3<br>生活環境の保全  | ○   | 仮設道路を海側に設けることにより、背後地への影響を抑制する。    | ○  | 仮設道路を海側に設けることにより、背後地への影響を抑制する。             |
| ①-4<br>その他重点項目  | —   | 特になし                              | —  | 特になし                                       |
| ②-1<br>野生生物等の生育空間の確保  | ○   | 既設堤防の嵩上げにより、海浜や背後の保安林への影響範囲を抑制する。 | △  | 突堤により海域の波浪、流況が変化するため、生態系への影響が懸念される。        |
| ②-2<br>希少な野生生物の保護   | —   | 特になし                              | —  | 特になし                                       |
| ②-3<br>地形、地質等の改変の抑止   | ○   | 既設堤防の嵩上げにより、海浜や海域への影響範囲を抑制する。     | △  | 養浜工は工区外への流出を防止するため、変動の少ない粗粒砂を採用する。         |
| ②-4<br>その他重点項目  | —   | 特になし                              | —  | 特になし                                       |
| ③-1<br>緑化、周辺景観との調和  | ○   | 海域への影響範囲が小さいため、現状を維持できる。          | △  | 計画案に比べて突堤本数が多くなり、沖合からの景観が悪化する。             |
| ③-2<br>親水等、ふれあい空間づくり  | △   | 堤防嵩上げのため、現状を維持できる。                | ○  | 養浜工により砂浜の回復が図れ、海辺のふれあい空間の確保が可能となる。         |
| ③-3<br>その他重点項目  | —   | 特になし                              | —  | 特になし                                       |
| ④<br>上記以外の特記事項  | —   | 特になし                              | —  | 特になし                                       |

## 5.事業計画案の環境配慮に係る評価

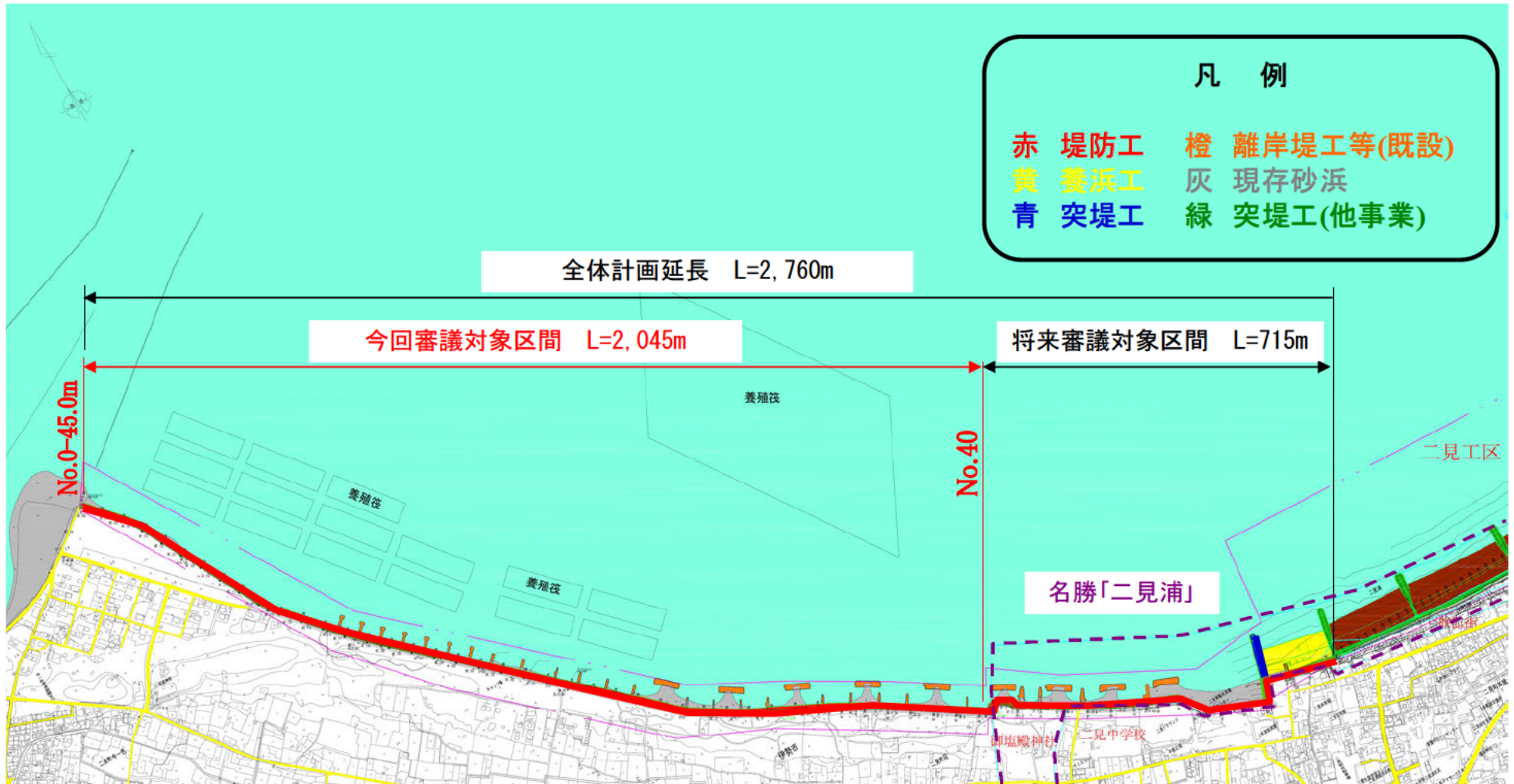
|             |   |
|-------------|---|
| 長所          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 海域の改変面積が小さく、現況の環境を維持できる。</li><li>・ 川養殖への影響が小さい。</li></ul> |
| 短所          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 特になし</li></ul>  |
| 会議で調整を要する事柄 | 特になし  |

参考図一1



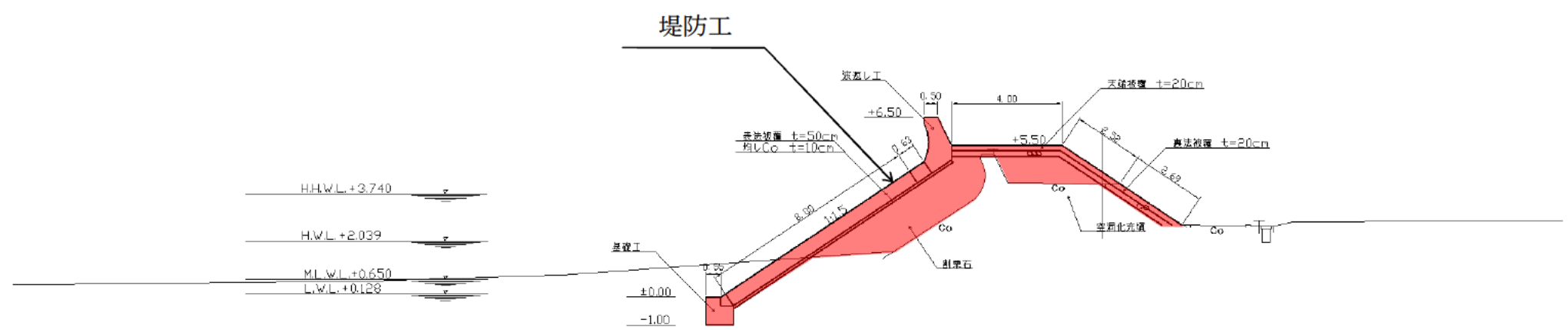


参考図-2



事業計画案 平面図

NO. 21  
 $\frac{H}{h}=4.100$



事業計画案 標準断面図

参考図-3 比較案



